



つつじが丘

教育目標 ゆたかなまなび たのしいなかま げんきなからだ
重点目標 とともに高め合う 七谷っ子

加茂市立七谷小学校

学校より

令和元年6月14日

No. 429号

<http://www.ginzadone.jp/~7tnj-k/>

e-mail k-7tni@educet.plala.or.jp

ありがとうございました!「つつじが丘PROJECT 2019」

6月9日(日)に、「つつじが丘PROJECT2019」が実施されました。今年で113年目を迎える「つつじが丘」。100年たった今も、つつじが丘は子どもたちの憩いの場、学びの場として輝いています。それは毎年、保護者の皆様、多くの子どもたちによってPROJECTが積み重ねられてきたお陰です。今年も早朝から多くの参加者を得て、PROJECTが実施されました。実施したPROJECTは次の5つです。

①つつじが丘の草刈り

②校舎の窓ふき

③排水溝の泥挙げ

④壁画の汚れ落とし

⑤丸太のベンチの入れ替え



週明け、校長室から見えるつつじが丘は、本当にきれいに見えました。つつじが丘で遊ぶ子どもの声が増えました。あまりに楽しそうなので見に行ってみると、田口先生と霜鳥先生が子どもたちと「助け鬼ごっこ」をしていました。学年男女の交ざった子どもたちに、先生方が一緒に遊んでいる学校。七谷小学校って、本当に素敵な学校だなあ、と嬉しく思いました。PROJECTに参加していただいた皆様、本当にありがとうございました。



「ありがとう」と言える七谷っ子

6月は「いじめ見逃しゼロ強調月間」です。いじめの中に「暴言」があります。言葉の使い方次第で、相手にいやな思いをさせてしまうことがあります。七谷小学校で今年度取り組んでいる「七谷っ子の3つのあ」から、全校朝会で次のような話をしました。

七谷っ子の3つのあ

- ① **あいさつ・へんじ**
*大きな声で、「元気にあいさつをしよう。」
- ② **ありがとう**
*助けしてもらった時には、「えかお、ありがとう」を言う。
- ③ **あとしまつ**
*自分のしたことは、最後まで責任を。せうじ。

「なぜ、ありがとうと言うといいのでしょうか？」
子どもたちに尋ねると、2年生の男の子が手を挙げました。

「言われた人が気持ちいいからです。」
全校の前で先頭をきって、話ができる。とても素晴らしいことです。続けて3年生の男の子、2年生の女の子と発表しました。全校の前でも堂々と話ができる子を増やしていきたいです。

「ありがとう」は言った人も言われた人もいい気持ちになります。そんな人を幸せにする言葉を「天国言葉」と言います。「うれしい」「いいね」「楽しい」「ついでる」などは天国言葉です。その中でも「ありがとう」が一番きれいな言葉です。みんなで言ってみましょう。

「では、天国言葉があると、何言葉があると思いますか？」

「地獄言葉」のつぶやきが聞こえます。

「死ね」「うざい」「消えろ」「どうせ」などの地獄言葉を黙ってテレビに写しました。子どもたちの表情が「う～ん」という感じになりました。

「こんな言葉は使わない方がいいですね。でも、なぜこんな言葉は使わない方がいいのでしょうか？」と尋ねると、今度は6年生が2人、発表しました。相手を傷つけてしまうこと、自殺に関わることなどを発表しました。さすが6年生の内容でした。

「どんな言葉を使うかを人間は脳で考えます。最近の脳の研究の発達で分かってきたことがあります。それは、脳は自分が言った言葉がだれに言ったのかが分からないときがあるということです。地獄言葉を人に言っているつもりが実は、自分を攻撃することもあるということです。悪口ばかり言っていると、こんな顔になるかもしれません。」と言って、暗～い表情の女性のイラストを見せました。「うえ～、誰が描いたの？」と曇り顔。

「でも、天国言葉を使っているとこんな表情になれるかもしれませんね。」人気アスリートや芸能人の方々の笑顔を見せました。子どもたちの表情がぱっと明るくなりました。笑い声も聞こえました。

「校長先生は、ありがとうと言える子にも言われる子にもなってほしいですが、まず、ありがとうと自分から言える子になってほしいと思います。ありがとうと言える七谷っ子、これをがんばってください。」

言葉は環境に左右されます。大人がどんな言葉を使っているか、学校と家庭が協力して子どもたちに良い言葉の環境を与えてやりたいと思います。子どもが「ありがとう」と言える環境をつくっていきましょう。

**ありがとうと言える子、
言われる子**

ありがとうと言える七谷っ子